

	8月1日現在	前月比
男	14,189	+ 7
女	14,318	- 3
計	28,507	+ 4
世帯数	6,374	+ 3

No. 302 昭和55年 8月15日発行 茨城県八郷町役場 (電話 02994(3)1111代) 岩本佳之 印刷 やさと印刷所



にぎわう町営キャンプ場

標高約300メートルの湯袋高原にある、町営東つくばキャンプ場が、自然の中での生活を求めて集まった人たちで、連日にぎわっています。町外からの利用者も多く、8月中はバンガローがほとんどいっぱいという盛況ぶり

です。

キャンプ場は、毎年7月から9月までの3カ月間開設しているもので、バンガロー16棟、炊事場、集会場、温水シャワー設備、トイレ、遊歩道などの設備があります。また、貸 TENT をを大小合わせて36張用意しており、TENT ベースは40張分あります。

利用申し込みや詳しいことの間い合わせは、自然休養村センター(2-3832)へ。

今月号のごあんない

- 2つの教育施設が完成……………2P
- 増え続ける少年非行……………3P

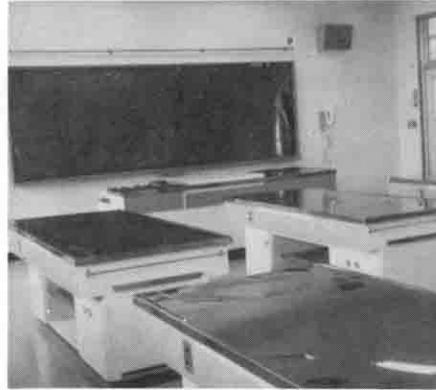
- 農業の安全な使い方……………4~5P
- 交通安全は家庭から……………5P
- 陸上競技5年ぶりに総合優勝、がんの予防……………6P
- 林成チームが優勝、やさと文芸……………7P

園部小学校



建設の概要

▶建設場所 大字宮ヶ崎6番地 ▶敷地面積 11,670㎡ ▶建物面積 2,158㎡
 ▶構造 鉄筋コンクリート造り3階建
 ▶教室数 普通教室7、特別教室6(図書室、理科室、音楽室、視聴覚室、家庭科室、図工室) ▶総事業費(敷地造成工事代含む) 2億6,962万円(国庫負担金7,257万3千円、簡易生命積立金還元融資等の町債及び一般財源1億9,704万7千円) ▶工期 造成工事=昭和54年10月5日~昭和54年11月20日、校舎建築工事=昭和54年11月10日~昭和55年7月20日



鉄筋コンクリート造り三階建ての新しい園部小学校が完成しました。
 新しい学校は、これまでの学校の南側、大字宮ヶ崎地内に約一・二ヘクタールの学校用地を確保し、昨年十月から

建設工事を進めていたもので、八月四日に行った竣工式に先立って、机、いすなどの備品の搬入も完了しており、二学期からは新しい校舎で授業が行われます。

2つの教育施設が完成



建設の概要

▶構造 半地下式P・Cコンクリート造り ▶水槽の大きさ 25m×10m(5コース) ▶付属施設 シャワー、男・女更衣室、洗体槽、洗眼所、男・女便所、管理室等 ▶総事業費(給配水工事等含む) 2,300万円(国庫補助金579万6千円、町債1,360万円、一般財源360万4千円) ▶工期 昭和55年5月1日~昭和55年7月15日

瓦会小プール

五月から建設工事を進めていた瓦会小学校の水泳プールが完成し、七月二十四日にプール開きが行われました。
 プール開きには、一年生から六年生までの児童全員が集まり、待ち望んでいたプールの完成に大喜びで、全員がプールに入って元気に水しぶきを上げていました。
 学校プールの建設は、町が年次計画で進めているもので、瓦会小学校の完成により、今年新校舎が完成した園部小学校を残すだけとなりました。その園部小学校へも、来年夏までに建設する予定となっています。



増え続ける少年非行

戦後最高 昨年は少年1,000人当たり
14.5人が補導されました

戦後第三のピークを迎えたといわれる少年非行は、年々増加を続け、昭和五十四年の成人も含めた全刑法犯三十六万八千人のうち、その約四割に相当する十四万三千人が、十四歳以上二十歳未満の少年という憂うべき状態となっています。これは、少年千人に対して十四・五人が補導された勘定になり、戦後最高の記録です。

一方、内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、低年齢化に一層拍子がかかるとともに、年少少年による殺人事件の多発、暴走族少年による凶悪・粗暴犯の増加のほか、中学・高校生による校内暴力事犯が激増するなど、新たな問題をはらんでいます。

夏休みは、子供たちの生活のリズムが乱れ、気持ちもゆるみがちで、親の目も届きにくくなります。楽しい夏休みが、一転「非行の季節」にならないよう、気をつけたいものです。

わが子の非行に直面したとき、ほとんどの親は「うちの子に限って……」と、絶句することが多いようです。

非行に対する親のイメージと現実とのズレを感じますね。

かつては、経済的に恵まれない家庭の代名詞のようにいわれた少年非行ですが、このごろではむしろ何不自由ない恵まれた家庭で、しかも甘やかされて育った子供が、非行に傾いていくケースが増えてきます。

また、一方では、親の自信



非行防止は対話のあ る家庭づくりから

東京都立大学教授 詫摩武俊

のなさ、子供に対する無関心や放任、さらには乱れた家庭のふん囲気も、子供を非行に追いやる原因となっています。

でも、親と子の対話が必要です。といって、対話のある望ましい親子関係は一朝一夕にできるものではありません。ふだんの積

子供にとって家庭とは、「安らぎのある楽しい場」でなくてはなりません。

そのためには、まず何を

み重ねこそ大切です。子供は、家庭の中の自分の役割を常に見ています。たとえば、お母さんに代わっ

崩さないこと、そのためには、家族全員が規則正しい生活を心がけることです。

非行の芽は早くつみとろう

海、山でのキャンプやドライブ、アルバイトなど、「豊富」な自由時間を背景に、新しい仲間と知り合う機会がふえます。そうした友達との付き合いを通して、仲間意識からくる「もたれ合い」のほか好奇心も手伝って、さまざまな非行に走るケースが後を断ちません。

非行の芽は、一刻も早くつみとってしまうことが大切ですが、そのための早期発見のポイントとなる目安をいくつかあげてみます。

■警察のことを「サツ」といつたり、周囲には分かりにくい

て近所へお使いに行くとか、来客があったときはお茶を出して簡単な応対ができるとか、父親にかかってくる電話をきかんと取り次げる……など、家庭の一員としての役割を与えられることで、子供は自信と誇りを持つようになる。少しずつ社会とのかかわりを理解していきます。

ところが、過保護の家庭や放任（主義）の親のもとでは、甘やかしと無関心があるだけで、家庭での子供の成長に欠かせない社会との接点となる「大人への芽」が積みとられてしま

隠語を使うことはないか。あるいは言葉づかいが乱暴になっていないか。

■家の人に行き先を言わずに外出したり、帰宅時刻が不規則に遅くなったたりしないか。

■以前と比べて金遣いが荒くなったたり、使い道を言わずに小遣いをせびつたりしないか。

■服装やヘアスタイルを必要以上に気にしたり、着方がぐずれていないか。



います。

子供にしてみれば、人間としての当然の欲求が断たれているために、欲求不満の状態に陥り、不平不満のハケ口を外に求めようとします。この過程で非行の道に入ってしまうことが多いのです。

子供を一人の人間として尊重し、社会生活への適応を上手にリードしてあげながら、常に子供と一緒に歩もうとする親の態度こそ、子供を非行から守る上で一番大切なことだと思えます。

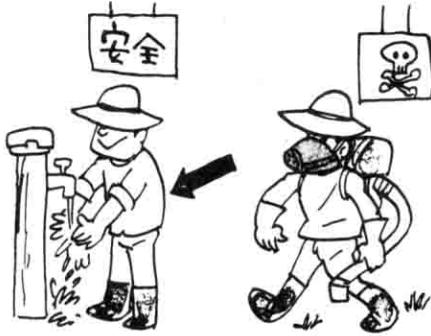
農薬の安全な使い方

農薬使用上の一般注意

病気や害虫に対して強い防除力をもつ農薬は、特にその種類を正しく選び、猛毒のものは避けます。また、低毒性といっても毒は毒です。正しく使つてこそ安全であり、効果もあります。

農薬は栄養剤ではありません。畜舎内の消毒や畜舎近くでの防除作業をするときには、病気や害虫と同じように害を受ける家畜のいることを忘れないでください。

飼料や飲み水に薬がかからぬ



よう風向きを考え、おおいをきるようにし、また、畜舎を消毒したときは、使用した薬が良く乾いてから動物を畜舎に入れるようにしましょう。使用する薬も、できるだけ動物に害のないものを使うよう、心がけてください。

間違つた使用法は百害のみ

農薬を使用するときは、機械を使用するときと同じように、よく説明書を読んで防除責任者の指示を守り、正しい使い方をしてください。農薬は、正しい使用法によつて、人間に害がなく、病虫害には効果をあげることがができます。

暑い日でも裸は禁物です。ヘルメット、マスク、防除衣、ゴム手袋などを、必ず正しく使ひましょう。

あなたは手を洗いますか

農薬の使用中に誤つて薬液が皮膚についたときは、直ちに洗ひましょう。もしも目に入ったら、早く水でザブザブ洗つてから、医者へ行きます。衣服についたらすぐに着替えるようにしましょう。農薬で汚れた作業衣を、半日も着てはいけません。

また、薬剤の散布作業をしたときには、よく手を洗つてから喫煙、食事をしてください。薬剤が口から入ると、微量でもとてもないことになります。

取り扱いは嚴重に

保管

子供が触れぬ場所に保管し、鍵をかけます。名前が汚れたり、ラベルがはがれてわからなくならないようにしましょう。特定毒物は、個人での使用ができないなど規則がたくさんあるので、資格のある人の指示に従ひましょう。使い残りは、むやみに溝に捨てたり放置してはいけません。

使用とその準備

人体に対して低毒性のものを選んで使いますが、低毒性といつても毒は毒ですから、油断しないことです。運搬時に袋が破れたり、ビンがこわれぬよう、また、栓がゆるんだりしないように注意します。食物、衣類などといつしよに、箱や袋に入れたりしないことです。子供は、絶対に農薬や容器、調剤用具に



触れさせてはいけません。

調剤時に原液に触れぬようゴム手袋を用い、静かに嚴重注意をし、触れたらすぐ水洗い（なるべく石けん）しましょう。容器に移すときや水で薄めるときなど、ハネを飛ばさないようにします。もし、道路上にごぼしたり布を汚したりしたときは、その部分を取つて、穴を掘つて地中に埋めるなどして人や家畜などが触れる恐れをなくします。負傷中の人、生理中、妊娠中の人、十五歳未満の人は、調剤も農薬散布にも適しません。中毒、その他の事故に備えて、応急措置の練習や資材などを準備しておきましょう。

使う前から後始末を考えて

散布作業が終わつたら、後始末が大切です。まず、残液や使用済みの容器の始末を完全にしなければなりません。機具、容器はもとより薬液の付いた作業衣

は、それだけを別にして良く洗濯して保管しましょう。

薬剤散布中は、子供を近づけたり農薬に触れさせないように注意してください。子供は薬に対する抵抗力が弱く、薬に対する理解がありません。ちよつとした不注意が、大事な宝をなくすことになります。

薬剤を貯蔵しておくときは、正規の容器に入れ、薬の名前がよくわかるレッテルを付け、使用説明書の示す場所（たとえば火気のないところや冷暗所）へ正確に貯蔵してください。

その場合、特に子供が触れないところに鍵をかけて保管します。「使いつぱなし」は物も損ですし命も損です。

防除作業の準備と注意

(1) 散布する予定のほ場は、除草やその他の管理作業などをその前に行い、散布直後に入らなくてすむようにします。

(2) 風の方向や拡散を考えて、農薬で人畜に害を及ぼさないよう、汚染や流下配慮しましょう。作業の段取りをよく考えておきましょう。

(3) 特定毒物の散布には、近くの住民に何を、いつ、何のためにまいたか、立札などで十分に知られたるようになります。

(4) 交代要員と、保護具（防除衣、マスク、帽子、手袋など）など

を周到に準備します。
 (5) 熟練した資格のある防除の指導者を選び、指導を受けましょう。

指導者と作業グループをつくる

最近の防除は、たいていグループでやります。特に、携帯用散布機でなく高性能・大型散布機では、機械係、調剤係、散布係、運搬係などの担当を決めます。そのため、作業経験の深い人を指導者に選んで周到な計画をたて、作業手順を円滑に、交代も疲労度と安全性に十分注意しながら、一人一人まで監視・指導をします。作業者の中に、それぞれ知識・体力・経験などの差があるので、その担当を無理がないよう定めます。

散布作業は疲れると危険

とかく疲れてくると油断して、危険な動作や粗雑な農薬の取扱いをするようになります。特に、暑苦しい真夏の作業は、中毒しないよう風下のほ場から作業を始め、作業者も補助者も農薬の霧や粉をかぶらないように行います。

保護具と服装の注意

農薬散布に、裸身を露出しては直接農薬が皮膚につき中毒します。そのため帽子、マスク、防除衣、ゴム引きまたはビニ-

ルのスポンに作業靴などを用います。

マスクは、ガーゼ、タオル類はほとんど効果がなく、汗に粉剤がかたまりついたり表裏を間違えたり、うっかり汗を拭いたり、かえって危険なことがあります。中毒防止のためには、大げさと思えるマスクの方が苦しくなく、より安全です。

防除衣は、暑苦しいのをガマンすれば完全防水のものが安全ですが、真夏で使えなければ十分防水した織目の細かいナイロン防除衣が、最近研究された防水を十分にした不織布の防除衣が比較的優れています。これらの防水加工のものでも、二、三時間農薬の舞っている中で連続して作業をしたら着替え、洗濯へ回すことが大切です。普通の

木綿の作業衣は、一、二時間着替える必要があります。

中毒予防のための注意

農薬が少量でも体に付いたと思ったらすぐに水洗いをし、石けんでよく洗います。作業中はタバコは危険です。知らずに汚れた吸口を口にするものです。食事の前には、汚れた作業衣なども脱いで、必ず手足や顔をよく洗い、うがいをし、きれいな場所ですみまします。もしも、気分が悪くなったたり頭痛がしたり、少しでも異常を感じたら指導者に連絡し、医師に見てもらいます。その際、使っていた農薬名や作業の状態などを医師に説明できるようにしておきます。



交通安全は家庭から

④ 子供のための交通ルールとマナー

お母さんがまず見本

子供には、ただことばで教えるだけではいけません。まずお母さんが、具体的によい見本を示してから何度もくり返して教え、子供に身をもって正しい交通ルールとマナーを習慣づけることが必要です。

また、子供の成長に応じて、車の性能や危険の理由も理解させるようにしましょう。

話合いのポイント

- 子供の特性や交通事故の傾向を話し合う
- 家の近くの危険な場所について
- 登校下校(園)どきの危険について
- 安全な遊び場について
- 忘れものをして急ぐことのないためには

事故事例

しました。

小学校に入学したばかりのA君は、学校からの帰り道もう少しで家に着くというとき、道路の反対側に買物に来ていたお母さんを見つめました。喜んで飛び出そうとするA君に、お母さんは「渡ってはだめよ」という手の合図をしましたが、A君はお母さんが呼んでいると勘違いして、いきなり道路に飛び出してしまいました。そのとき左側から時速五十キロで走ってきた乗用車にはね飛ばされ、死亡



〈第三十四回新治郡体育大会〉

陸上競技五年ぶりに総合優勝

七月六日、新治郡体育大会が、桜村の竹園東中学校を主会場に実施されました。

大会は、新治郡内六町村から代表選手が参加して行われたもので、町からは一般、青年合わせて百七十名が参加しました。

今年も、町代表選手の活躍にめざましいものがあり、陸上競技では強敵桜村を押さえて五年ぶりの総合優勝を果たしたほか、バレーボールは四年ぶりに総合優勝、柔道は二年連続総合優勝するなど、各競技によく健闘し

ました。主な成績は次のとおりです。(一)内は青年団名

●陸上競技
 ▼総合優勝 青年男子の部一位、青年女子の部優勝 青年男子の部 〇百メートル二位石崎吉男(林) 〇千五百メートル三位小松崎一郎(南) 〇八百メートルリレー二位 〇走幅跳二位石崎吉男(林) 〇走高跳三位海野猛(恋) 〇三段跳三位塚田恒夫(恋) 〇砲丸投一位久保田浩章(柿) 〇三種競技二位田村豊治(南) 青年女子の部 〇百メートル二位奥村幸子(柿) 〇二百メートル一位渡辺一枝(芦)、同三位真家明美(瓦) 〇八百メートル一位真家明美(瓦)、同三位稲田初江(柿) 〇四百メートルリレー一位 〇走幅跳一位鈴木百枝(恋)、同二位稲田初江(柿) 〇走高跳一位木村里子(南)

●砲丸投一位鈴木百枝(恋)、同三位諏訪庸子(園) 〇三種競技一位渡辺一枝(芦) 〇三段跳一位山崎高雄(芦)

●庭球 〇女子個人戦二位奥村加代子、鈴木都子組

●バレーボール ▼総合優勝 一般男子の部優勝、青年男子の部優勝、青年女子の部二位

●柔道 ▼総合優勝 一般の部三位、青年の部優勝 青年の部 〇中量級一位鈴木昭二 〇軽重量級三位潮田昭一 〇重量級一位中村守

●卓球 ▼総合二位 一般の部二位、青年の部二位

●剣道 ▼総合三位 青年の部二位

●バドミントン ▼総合三位 青年の部二位

●バスケットボール (七月二十日に桜中学校で実施) 〇青年女子の部優勝 〇青年男子の部三位

※バレーボールの青年男子、バスケットボールの青年女子、柔道青年の部のクラス別優勝者及び陸上競技の上位入賞者(選考会で協議)は、八月十六日から二十四日にかけて行われる茨城県青年体育大会へ出場することになります。



優勝した一般男子の試合

がんの予防

早期発見、早期治療

現在日本人の死因の第一位は脳卒中で、第二位はがん、第三位は心臓病となっています。しかし、近年がんによる死亡が増加しており、その勢いは近い将来第一位の脳卒中を追い越すのではないかとされています。

がん細胞は増殖が速く、体のどこにでも転移して、新しく増殖するやっかいな病気です。しかも、現在の医学では根治する適当な薬物が無いので、できるだけ早く手術をして根こそぎ取り除くか、放射線を当てがんに細胞を焼き殺すしか方法がありません。そのため、早期発見、早期治療という合い言葉で発見を呼びかけています。がんは初期症状はありませんが、何かしら症状がでてきた時にはかなり進んでいることが多いので、年に一回は検診を受けましょう。また、次のような症状に気づいたら、すぐに検査を受けましょう。胃の具合が悪かったり、食欲がない。好みが変わった。おりものや不正出血がある。乳房のなかにシコリがある。飲み込むとき、つかえるように感じる。



がん予防の日常生活六力条

- 便に血や粘液が混じる。
 - せきが続きたり、血の混じったタンがでる。声がかすれる。
 - なおりにくいかいようがある。
 - 尿の出が悪くなったり、血が混じっている。
 - イボが急に大きくなった。
- がんの治療方針は、現在のところ「早期発見、早期治療」以外にはありませんが、日常生活の中で、次のことに注意しましょう。
- ① 偏食なしのバランスのとれた食事をとる。—— ひとくこげれずに。
 - ② 深酒はしない。
 - ③ タバコは少なくする。
 - ④ 塩からいものは少なく、あまり熱いものも控えめに。
 - ⑤ 過労を避ける。—— 疲れ過ぎは全ての病気に対する抵抗力の低下です。
 - ⑥ 身体を清潔に。—— 清潔な身体は病気にも強く、病気の侵入を防ぎます。



林成チームが優勝

町家庭婦人バレーボール大会が、7月13日、八郷高校体育館を会場に開かれました。

大会では、9チームが参加して熱戦が展開され、子供たちの応援もあってハッスルプレーが続出しました。成績は次のとおりです。

▶優勝 林成チーム ▶準優勝 東成井チーム ▶3位 柿岡チーム、小幡チーム。

水泳教室開かれる

社会教育課主催の水泳教室が、7月14日から8月11日までの毎週月曜日に、5回にわたって町民プールで開催されました。

水泳教室は、初心者（特に泳げない方）の親子を対象に、水に慣れることによって泳げるようになってもらおうと開かれたもので、13組33人が参加しました。



気軽に相談を

日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるのかわからなくて困ったというような経験はありませんか。

たとえば、家庭内のいざこざをはじめうわさの流布によるいやがらせ、近隣騒音、悪臭問題——など。

このような問題でお悩みの方は、人権擁護委員に気軽に相談ください。相談は無料で、相談内容についてはかたく秘密が守られます。

▽町内の人権擁護委員

●富田恭雄（大字大塚、電三二七六六） ●三輪秀男（大字上曾、電三二八四七七） ●根本興元（大字小幡、電二一三四四九）

健康知識

夏バテ防止に大豆たんぱく

大豆のタンパク質は、豚肉や卵の二倍以上もあり、質も大変良質です。脂肪はリノール酸やリノレン酸を含み、特にリノール酸を五〇パーセ



短歌

吉田 次郎 選

雫光る吾が門の辺の百合の花夕べ明るく雨上りたり

東山崎 荒井 岳山

いつの間にか丸くなりたる吾が背中いよいよ老の深まりて来て

小幡 塚谷 きり

絶えていし君が便りのなつかしく訪ねし庭に山百合匂う

加生野 中島美千代

俳句

滝田 玉水 選

朝霧や揚水場の水の音

細谷 金沢 翠柳

梅雨明や筑波真赤に巍然たり

東山崎 荒井 岳山

蟬の声嶺々の霧まだ暗れず

瓦谷 路川 長老

俚語

大木 嶺月 選

出穂も間近な青田の中に目立つ減反蓮の花

瓦谷 桜井 紅霞

飯場暮しが妻子をしのび仰ぐ夜空の北斗星

下林 鈴木 弦月

青田千町出揃ふ稲穂台風予報が気にかかる

月岡 山田 紫影

脂肪は、大豆の七五パーセント、絹ごし豆腐は六五パーセント含まれ、栄養的には大豆にくらべていくらか落ちますが、消化吸収の上では非常に優れています。豆腐は、製造後四〜八時間がおいしく、しかもこの間、十五度Cくらいの流水で、十分アク抜きをしたものがよいようです。

夏は「冷ややっこ」の季節です。木綿豆腐のタンパク質や脂肪たんぱくを見なおしましょう。

☆☆☆おしらせ☆☆☆

県政教室の参加者を募集

県では、皆さんに県政に対する理解と認識を高めていただくため、県内の施設や自然資源などをバスで見学し、車内で県政について学習する「県政教室」の参加者を募集しています。ぜひご参加ください。参加料は無料です。

▼実施内容

- 実施期日 九月十一日(木)
- 見学施設 県水産試験場増殖部、那珂湊水産加工団地、県漁連かん詰め工場、大洗商港
- 申込期限 八月二十七日(水)
- 乗降場所及び時間 石岡駅前

九時発、十五時五十分着

《第二コース》

- 実施期日 九月十八日(木)
- 見学施設 真壁石材工業団地、県繊維工業指導所、学童農園

あすなろの里

● 申込期限 九月三日(水)

- 乗降場所及び時間 八郷町役場九時発、十六時三十分着

《第三コース》

- 実施期日 九月二十二日(月)
- 見学施設 県歴史館、県消費生活センター、県メデイカルセンター

● 申込期限 九月八日(月)

- 乗降場所及び時間 石岡駅前九時三十分発、十五時三十分着

▼参加資格

県内に居住している十八歳以上の方

▼参加申込方法

官製ハガキに住所、氏名、電話番号、年齢、性別、職業(または勤務先)、コース名、乗車場所を明記して、〒三〇〇、土浦市真鍋五十一七二六、県南地方総合事務所総務課企画調整班へ申し込んでください。

▼その他

小雨決行とします。昼食は、各自で用意してください。詳しくは県南地方総合事務所総務課企画調整班(電〇二九八一二一―二六二六)へ。

交通事故の相談はお気軽にどうぞ

一瞬のうちの恐ろしい出来事、これが交通事故です。そして、当事者はもちろん、家族までも苦しみの中にまき込んでしまうこともあります。自動車保険請求相談センターでは、このような交通事故でお悩みの方のため、無料で交通事故の相談に応じています。専門の相談員が親身になって相談に応じてくれますので、お気軽にご利用ください。

▼相談日及び時間

- 平日 午前九時三十分～午後四時三十分(土曜日は正午)まで
- 弁護士相談日 毎週水曜日、午後一時～午後四時

▼相談場所

水戸市南町三十四一五七、水戸セントラルビル四階、水戸調査事務所内、水戸自動車保険請求相談センター(電〇二九二二六六一―一六九三)

海外で農業を学んでみませんか

みませんか

海外の農業先進国における農業実習と研修を通じて、近代的農業を体得し、帰国後は我が国の農業の中核の推進力となりえる人材を養成することを目的とした、昭和五十五年度海外派遣農業実習生の募集が行われています。本県から募集される実習生は三名(全国百五十名)で、アメリカ、カナダなど七カ国に派遣されます。応募資格など詳しいことは、役場経済課(電三一―一―一内線六一)か、石岡農業改良普及所(電〇二九二二四―一―二二)へお問い合わせください。

■夏休みの学習

学校の夏休みは、一カ月以上もあって、かなり長いものです。こういうときでもなればできないことを、何か一つぐらいはやってみたい。そんな気持ちは親にも子にも、ともにあるのではないのでしょうか。

どんな小さな庭にも雑草は生い茂ります。小学生なら、その小さな雑草の花や葉を写生して、学名を調べてみる。図書館などを利用してとことんやってみることも、良い学習になるのではないのでしょうか。

学名を調べているうちに、辞書の引き方、図鑑の見方なども覚えられて、親子ともども楽しく、夢中になつたりします。

中学生ぐらいになると、旅行先などの町並み、一軒一軒の写真、店主の話などを織りまぜた民俗地図の作成など、どうでしょうか。

■ありがとう

○小桜保育所へ花壇用草花多数

半田 寺嶋 仲高

「わが家のアイドル」



菊地智子ちゃん(下林)

父 宏則さん 母 まち子さん
昭和54年8月6日生まれ(長女)
家族からの一言 作ったものを何でもきれいに食べてくれる女の子です。でも、食べている最中にも、ご飯をかき回したりおもちゃを投げたり、目が離せません。つたい歩きがじょうずになって、テーブルを1周しては、おじいちゃん、おばあちゃんにだっこして、はしゃいでいます。

メモをとる習慣を

